

(参考) 令和3年度の主な改善事項

1. 新・群馬県総合計画策定に伴う募集テーマの追加

- (R2) 新たな視点やアイデアを盛り込んだ具体的な事業
→【R3】上記に加え、大局的なテーマや地域限定の事業

2. 発表会の前倒し

- (R2) 12月22日
→【R3】10月14日

3. 発表会の概要周知

- (R2) 庁内システムに概要文書掲載
→【R3】上記に加え、庁内にライブ配信

4. 発表会後のフォローアップ

- (R2) 予算化の状況を適宜照会
→【R3】上記に加え、政策アドバイザーとの個別相談を実施

令和4年度に向けた更なる改善

目的の明確化

県職員が新しい政策を立案、知事等にプレゼンテーションし議論を行うことで、**職員の自由な発想を県政に反映する**

課題

- 「部局提案」では、若手職員の自由な発想が反映されにくい

- 「一般職員提案」が少ない

- プレゼン内容の事業化が難しい
- 予算確保が難しい

R4の改善点

- 「職員」による提案に一本化

- 勤務時間内に政策検討の時間を確保
- 事業化・予算化された提案は、「業績職員等表彰」の選考対象に

- プレゼン実施時期をさらに前倒し
- 総務部長のプレゼン参加
- 予算「特別枠（政策プレゼン）」の確保
- 庁議で事業化状況を報告

テーマ	概要
地域におけるDX推進人材育成事業	県内すべての地域の住民がDXの恩恵を受けられる社会を実現するため、「デジタル版地域支援員」を導入し、市町村のDXの取組を支援する。
始動！コグリ塾！	群馬県内の幅広い世代が活躍する社会を実現するため、「官民共創」の取組を生かした社会人の「始動人」の掘り起こしと育成を行う。
IT人材育成×女性就労支援 MAITSURUプロジェクト	男女間の賃金格差や、働きたくても働けない女性が多い現状を解決するため、IT業界での女性活躍を支援する。
外国人県民の提案をぐんまの未来へ ～『ぐんま多文化共創アワード』 による共創社会の実現～	誰一人取り残さない「多文化共生・共創社会」を実現するため、外国人県民が意見を提案し、反映させていく仕組みをつくる。
群馬県小さな森価値向上プロジェクト	「2050年 温室効果ガス排出量実質ゼロ」の実現のため、CO2吸収量をクレジット化する仕組みを整備し、森林整備の効率化やCO2吸収量の増加を図る。